

ASK ニュース

Vol.0160

2015年6月29日(月)

担当：MS事業部 三宮

〒460-0002

名古屋市中区丸の内3-22-21 損保ジャパン名古屋ビル1F

ASK 税理士法人

TEL 052-971-1122 FAX 052-971-4488

日本政策金融公庫

はじめに

ASK ニュースをご覧の皆様は、一度は、日本政策金融公庫というものを聞いたことがあるかと思えます。また、実際に取引をしている方も大勢いるかと思えます。でも、中には、融資がうまくいかなかったり、融資を断られたりして、あまり良いイメージがない方もいるかと思えます。

そこで、今回のASK ニュースでは、この近くで遠い存在の日本政策金融公庫についてお伝えしようかと思えます。

信用保証協会の保証をしている

銀行の融資は、大きく分けて2つの制度があります。一つは、プロパー融資。もう一つは保証協会付の融資です。

プロパーの融資というものは、銀行が直接固有に融資を行うものです。

これに対するものが、保証協会付の融資です。保証協会付の融資とは、公的機関である保証協会という機関が、借り手が払えなくなった時にその借り手に代わって代位弁済をしてくれる銀行にとっては大変ありがたい融資制度です。

実は、日本政策金融公庫は、この保証協会の保証をしています。

保証協会の保証をしている位なので公庫からの融資は、保証協会付の融資などなく、すべていわゆるプロパーの融資ということになります。

よって、保証協会の枠が仮にいっぱいだったとしても公庫からの借入は、別枠なのです。

公庫が明かす銀行が貸さない理由とは

金融機関が、融資をためらう理由を、公庫の担当者に直接お聞きしたところ大きく分けて3つの要因があるそうです。それは、

①情報がベールに包まれておりリスク把握が難しい。

②信用リスクが高い。

③将来のビジョンが不明瞭。

の3つです。

①は、中小企業の財務諸表の信頼性が低く、帳票の管理がずさんであるところが大きな要因です。

②は、大企業などに比べると中小企業は、内部留保が乏しく経営環境の変化に弱いところが大きな要因を占めます。

③は、経営計画や経営戦略が見えてこないというところが大きな要因です。

おわりに

金融機関が、お金を貸さない理由は、端的に言えばコミュニケーションを普段から金融機関と取っていないことによる経営者と金融機関との意識ギャップが原因なのです。

逆に言えば普段から、金融機関に包み隠さず情報を与えておけば、安心をして、それが結果的に信用につながるということなのです。

それでは、金融機関とのコミュニケーションの取り方はまた次の機会にいたしましょう。